

# 事業紹介 『清流の国ぎふ』づくり～魅力の創造・発信～ 2

## #1 「清流の国ぎふ」が誇る伝統文化「地歌舞伎」の振興

岐阜県の伝統文化・地域文化の象徴である「<sup>じかぶき</sup>地歌舞伎」を、広く県内外の皆様にご覧いただき、そして未来へと受け継がれるよう、県を挙げて魅力発信に取り組んでいます。

### [地歌舞伎大国・岐阜]

岐阜県には多くの貴重な文化資源があります。その中の一つ「地歌舞伎」は、地元の素人役者によって演じられる地域に根付いた歌舞伎です。

全国に200余の地歌舞伎の保存団体がある中で、岐阜県には30を超える保存団体が存在します。さらに、県内各地には9棟の芝居小屋が現存しており、毎年、保存団体による定期公演も開催されています。

このように岐阜県は全国でも有数の「地歌舞伎大国」であり、江戸時代から伝わる演目や振付が今なお地域の人々によって大切に受け継がれ、親しまれています。

### [清流の国ぎふ2020地歌舞伎勢揃い公演]

2020年1月からは、「ぎふ清流文化プラザ(岐阜市)」を舞台に、県下の保存団体による全13回のリレー公演「清流の国ぎふ2020地歌舞伎勢揃い公演」を開催しています。

本公演を通じて、岐阜県が誇る地歌舞伎の魅力や醍醐味をアピールするとともに、将来にわたって伝承していくための契機としていきます。



(2020年1月19日勢揃い公演 幕開きの口上)

## #2 伝統産業の振興から県産品の販路拡大までを幅広く支援!

岐阜県には、美濃和紙や岐阜和傘といった長い歴史の中で受け継がれてきた伝統工芸品をはじめとした「清流の国ぎふ」の資源を活かした県産品が多く存在しています。

こうした岐阜県の魅力ともいべき県産品を守り、発信していく取り組みを進めています。

### [伝統産業の支援]

担い手確保や人材育成、新たな需要拡大など、伝統産業が抱える課題の解決に向けた取り組みを進めています。



### [県産品の海外展開]

海外デザイナーと県内企業とのマッチングによる商品開発及び海外へのプロモーション、海外のセレクトショップと連携したグローバル・アンテナ・ショップ(GAS)構築や、海外ECサイトでの県産品販売展開などに取り組んでいます。



### [県産品の販路拡大等支援]

有望な展示会・見本市への岐阜県ブースの出展やバイヤーと県内企業を繋ぐ商談会の開催、大都市圏等での県産品フェアの実施といった県内企業向けの機会創出に取り組んでいます。加えて、ネットショップへの参入支援や商品開発・見本市への出展などに積極的に挑戦する県内企業に対して、補助金を交付するといった財政的支援を行っています。



## #3 県民の安全・安心を守る災害対策・防災



### [災害対策本部運営]

近年、全国的に災害が頻発しており、岐阜県でも、平成30年7月豪雨、台風21号、令和2年7月豪雨など、立て続けに災害に見舞われました。

災害時には、災害対策本部を設置し、気象情報や被害情報の収集、避難の呼びかけ、避難所等で必要な物資の調達、自衛隊への災害派遣要請など、県民の命を守るために活動しています。

また、県内外で災害が発生する都度、検証を実施し、対策に活かしています。例えば、コロナ禍で初めての大規模災害となった令和2年7月豪雨の教訓を踏まえ、コロナ禍における災害ボランティア受入方針の策定や、避難所の感染防止資機材の配備を進めるなど、防災体制の強化に取り組んでいます。

### [災害から命を守る岐阜県民運動]

災害から命を守るためには、行政だけでなく、県民一人ひとりの「自助」や、地域の「共助」が重要となります。このため、幅広い世代に利用されているLINEを用いた情報発信や、YouTubeによる防災学習動画配信など、様々なツールを活用し、オール岐阜で自助・共助の底上げを図る「災害から命を守る岐阜県民運動」を展開しています。



YouTubeによる動画配信イメージ

## #4 防災・減災、県土強靱化に向けたインフラの整備

### [物流・観光を支える道路ネットワークの整備]

岐阜県は、県土の8割を山地が占める地形的特性上、人・物の移動・輸送手段を車に大きく依存しており、地域を繋ぐ道路ネットワークの確保が非常に重要であるため、物流・観光を支える道路ネットワークの着実な整備を進めています。また、大規模な災害の際に道路インフラの被災により、救助・救急活動などの災害対応に支障が生じる事態を回避するため、緊急輸送道路ネットワーク上の道路整備、橋梁耐震対策及び斜面对策等の整備を進めています。



### [水害や土砂災害から命と暮らしを守る基盤整備]

気候変動により頻発・激甚化する水害や土砂災害に対して、ハード、ソフト両面から強靱な県土整備を進めています。水害対策では、河川改修やダム等の整備等を、また、土砂災害対策では、要配慮者利用施設や避難所を保全する箇所等で砂防関係施設の整備を進めています。加えてハード対策では防ぎきれない自然災害に対して命を守るための確実な避難・防災行動に向けたソフト対策に取り組んでいます。

